

ジャパングラブ NEWS LETTER

Japan Club : 1759 Sutter Street #203, San Francisco, CA 94115 • Tel: 415-931-9424 • www.jpclub.org • jc-sf@sbcglobal.net

12月度理事会議事録

餅つき新年会のゲスト、新企画について検討

会員の皆さんからの新しい企画アイデアを求めています

今月の理事会は12月3日(水) 5時30分から開かれました、今月は議場をサウス・サンフランシスコにある Basque Community Center に移して開かれました、なお今月の討議内容は下記の通りです。(出席は理事、会員あわせて14名でした)

「2月の餅つき新年会」予定について

上野会長から理事の皆さんの1年間の労をねぎらう挨拶で始めました理事会の内容は次の通りです。

来年の「餅つき新年会」は、2月1日(日)に今年同様ジャパントウン・北加日本文化コミュニティー・センターでの開催が決まっている、当クラブ最大の催し「餅つき新年会」について全体的な検討をしました、具体的な点は1月の理事会で決められますが、ゲスト(エンターテイメント)を誰にお願いするか(今年は倉形ご夫妻のピアノとバイオリンが大好評でした)同時に何か新しい企画が考えられないか。

特にゲストについては至急決定する必要があります、各理事、会員の皆様のご意見、アイデアをお聞きしたいと思いますのでよろしくお祈りします。(事務局まで)

その他

- 今月号に予定されている「景気低迷時に私達ができる対策」(仮題)を沖山会計理事が書いてくださいますが、これと同様、皆さんが持っている疑問、質問、不安など何でも問い合わせしてほしい、これらをしかるべき人、機関で調べてニュースレター上で回答するような企画を進めたい。
- ガレージセールを小さい規模でも毎年続け、ジャパングラブの一つのイベントとして定着させたい。
- 現在の会員数をもう少し増やしたい、その為に各会員、理事も積極的にPRしてほしい。
- 1月号のニュースレターの内容(予定)説明、等がありました。

次回理事会は、新しい年2009年1月7日(水)に日米会地階会議室に於いて6:30より開かれます。



Merry Christmas & Happy New Year!

新しい年の皆様のご健康とご多幸をお祈りします



ジャパングラブ・餅つき新年会

ジャパングラブの一番大きなイベントである餅つき新年会は2月1日(日)に開催されます、申し込み用紙は1月号のニュースレターに同封されますのでぜひご参加ください。

サンフランシスコ総領事館から

年末年始の領事館休館のお知らせ
12月27日(土)~1月4日(日)
 特に緊急の場合は(415) 777-3533 (代表)に電話してください。

ジャパングラブ・インターネットURL 変更

ジャパングラブのインターネットにアクセスする為のURLが変わりました、新しいアドレスは <http://www.jpclub.org> です、メールアドレスは jc-sf@sbcglobal.net で変わりません。

領事館からの種々の連絡の基本になる在留届ですが、住所等の変更時に連絡されない方が多くせっかくのご案内が届かない事があります。住所、電話番号などの変更の連絡もお忘れなく。

皆さんの・質問・疑問・不安にお答えする

「どうなっているの、この経済不況」

新聞、テレビで連日伝えられる経済不況、大企業の大量解雇、
新車販売の極端な落ち込みなどサブプライムローン問題に端を発した
今回の此の問題を沖山泰彦会計理事が解説してくれました

1970年代初頭、東洋工業がロータリーエンジン車を引っさげて米国に上陸し、新しいものを好む米国人に買われて、トヨタや日産が長年に亘ってやっと月6千台の売り上げを計上できた時わずか数カ月の後にはロータリーエンジン車も6千台の売り上げに達しました。しかしその後1年足らずのうちにOPEC諸国の石油値上げに伴いロータリーエンジン車の燃費率が他車に比べ悪い事が発表されるや、ぱたっと売れなくなり東洋工業は破産かと思料される程追い込まれましたが、他産業や他国には影響が及びませんでした。

又米国に於いても1970年中央金利の自由化に伴い調達金利の上昇により貯蓄貸付組合(Savings & Loan Association)が倒産しても、それが他の金融機関に多大の影響を及ぼす事はありませんでした。

第二次世界大戦後1970年代までは米国が武力、経済力共に傑出して、米国がクシャミをすれば他の国は風邪を引くか肺炎になるとまで言われる程あらゆる面で米国が世界の中心だったのです。

ところがこうした情勢に変化が現れたのは1980年代に入ってからです、お金に対する欲望の強い拝金主義者を満足させる為に株式の配当を増やす事が大企業の経営者の課題となって来たのです、理論的には製造コストを下げ、在庫を減らし、売り上げを増やす事です。1980年代までに経済大国に仲間入りした日本を含め、製造業は合併と人件費の安い後進国で製造し完成品或は半完成品を自国で完成して販売する方策を取り自国内の空洞化が現れてきました。

こうした実態経済で利益が上がり配当を増やした企業の株価は証券市場で上昇し、上っ面の景気は上昇気流に乗り、市場原理効率主義が至上命令のような新自由主義の下、実体経済から乖離した証券市場証券市場の活況が発生したのです。

実体経済面から世界を見ますと前述の如く先進国諸製造業の本国に於ける空洞化が進み段々と従業員の減少政策をとらざるを得なくなり、一方低開発国では先進国の下請けで学んだ技術を活用し自国内の製造業が発展し、その製品が先進国を脅かす程になってきたのです。

この危うさを一気に加速させたのが90年代末にかけて発生したバブル崩壊後に顕著になった「お金でお金を膨らます為に人間が振り回される」証券市場現象です。本来なら物質構造の把握等に使われる工学使われる工学を金融市場動向解明に適用した金融工学という机上の空論に基づいて住宅は値上がりすると想定してサブプライムローンの証券化を行ないそれを浮遊した余剰資金の持ち主が自分の金を膨らませる為に買い、サブプライムローンを利用する低所得者層低所得者層が空洞化現象を惹起した企業から解雇され支払い不能になるであろう事は神ならぬ人間の察知できる事ではなかったのです。

現代通信技術の発達により一国の不況情報は瞬時に世界に伝播し此のサブプライムローン証券を購入した企業は金融機関を含めその損失その損失を償却するために収益の悪化を招き、そうした企業の株式を購入した企業も又株式下落の損失を償却するため収益の悪化を招いて株価が下落すると云う悪循環が発生し、今度は企業が製造しても例えば住宅や自動車を作っても購入したくても収入が無く購入できない人が増加して売れないと云う事態となって実体経済の悪化を招来し全世界を巻き込んだのが今回の不況です。

こういう事態からの短期回復は望むべくもありません。とにかく株価等は経済実態から乖離した人間の心理作用で上下する投機商品ですから一攫千金のチャンスもあれば一瞬にして全損の悲哀を味わう事もあります。このような時どうしたら良いか。資産をお持ちの方は将来の生活費以上の余剰資金を株価低迷の現在、優良株購入に向けるのもよろしいでしょうが、私のように年金と若干の金利収入で生活している者は無駄使いをせず節約につとめる他は無いと言えましょう。

**この解説記事を読んで、ご感想、ご意見あるいはさらに疑問に思う事等ありましたらぜひ事務局までお知らせください。
ご質問にはさらに調べてお答えするようにします。**

会員の皆さんからの・質問・疑問・不安に思っている事・興味のある事などなど
或は他の会員の皆さんに教えてあげたい面白い話、耳より情報など
どんな事でも結構ですどしどし事務局までお知らせください